

# 新規導入編

ここでは、GLOOBE Architectを新規にセットアップする方法を解説します。

お使いのGLOOBEをバージョンアップする方法、または追加購入したオプションプログラムをセットアップする方法については、「バージョンアップ/オプション追加編」をご覧ください。

1. セットアップの前に .....	2
2. Architectの一括インストール .....	4
【補足】個別インストールについて .....	6
3. プログラムの起動（ネット認証 占有） .....	7
【補足】ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合.....	8
4. FCアカウントの作成 .....	9
【補足】プロダクトIDの自動認証/認証解除の設定を変更するには .....	10
【補足】プロダクトIDの認証を手動で解除するには.....	10
【補足】GLOOBEを習得するには .....	11
5. ネット認証 LANのセットアップ .....	12
6. プログラムの起動（ネット認証 LAN） .....	14
【補足】ネット認証 LANサーバーの機能 .....	15
7. プログラムの起動（ネット認証 共有） .....	16
8. SNS-Wのセットアップ .....	17
9. SNS-LAN-Xのセットアップ .....	18
10. プログラムの起動（USBプロテクト） .....	20
【補足】SNS-LAN-Xサーバーの機能.....	21

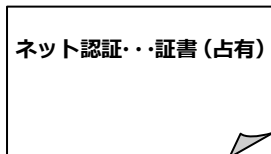
# 1 セットアップの前に

## プロテクトタイプの確認

GLOOBE Architect のプロテクトには次の 5 種類があります。

お持ちのタイプを確認し、ネット認証ライセンス証書または USB プロテクトを準備します。

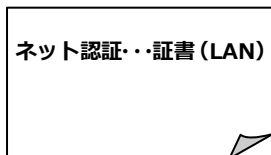
### ネット認証ライセンス（占有）



### USBプロテクト【SNS-W】



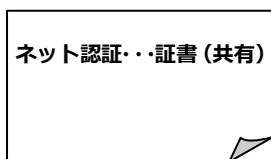
### ネット認証ライセンス（LAN）



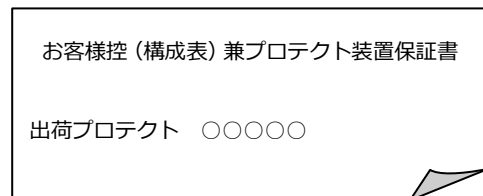
### USBプロテクト【SNS-LAN-X】



### ネット認証ライセンス（共有）



※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」にも記載されています。



### ● セットアップの前に確認してください

- ・セットアップするには、「コンピューターの管理者（Administrators）」権限のアカウントでサインインしている必要があります。
- ・セットアップ中にコンピューターの再起動が必要な場合があります。起動中のプログラムがあれば、終了しておきます。
- ・お使いのウイルス対策ソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策ソフトなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップを行ってください。

### ● GLOOBE 体験版をインストールされている方へ

GLOOBE 2024 Architect 製品版を新規セットアップするコンピューターに、2023 以前の体験版がインストールされている場合は、体験版をアンインストールしてから、製品版をセットアップしてください。2024 体験版がインストールされている場合は、新規セットアップの流れに従って製品版をセットアップしてください（GLOOBE などのプログラムは最新版に更新されます）。詳しくは、GLOOBE セットアップ DVD 内の「セットアップガイド」より「GLOOBE 体験版をお使いの方へ」を参照してください。

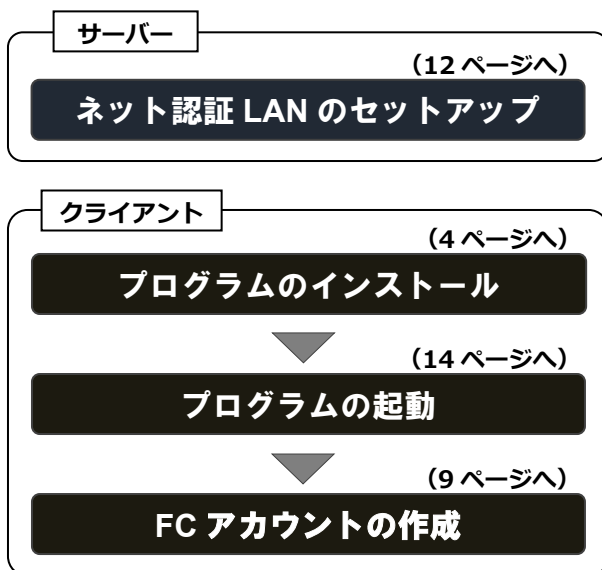
## 新規セットアップの流れ

GLOOBE Architect の新規セットアップは、プロテクトのタイプに応じて以下のような流れになります。

### ■ ネット認証ライセンス（占有）の場合



### ■ ネット認証ライセンス (LAN) の場合



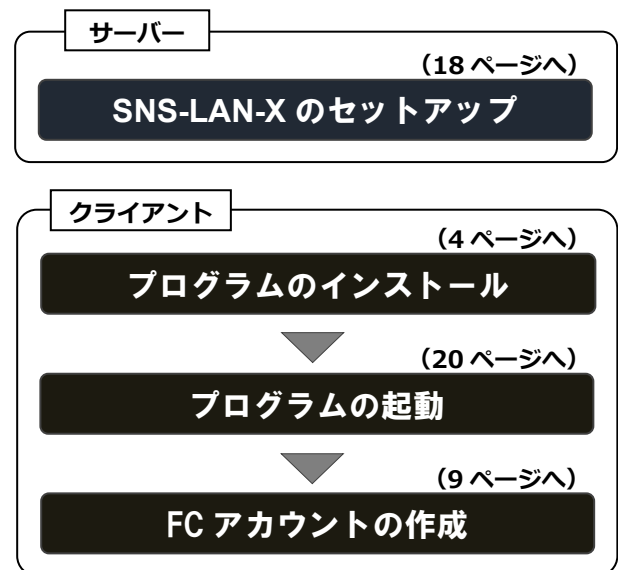
### ■ ネット認証ライセンス（共有）の場合



### ■ USB プロテクト【SNS-W】の場合



### ■ USB プロテクト【SNS-LAN-X】の場合



# 2 Architect の一括インストール

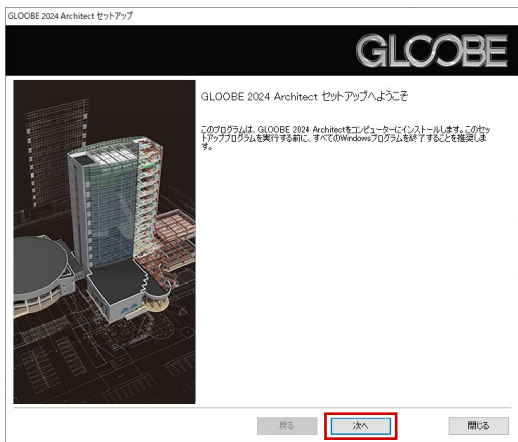
GLOOBE Architect と関連するプログラムを新規にインストールします。

1. コンピューターに「GLOOBE Architect セットアップ DVD」をセットします。
2. 「一括インストール」を押します。

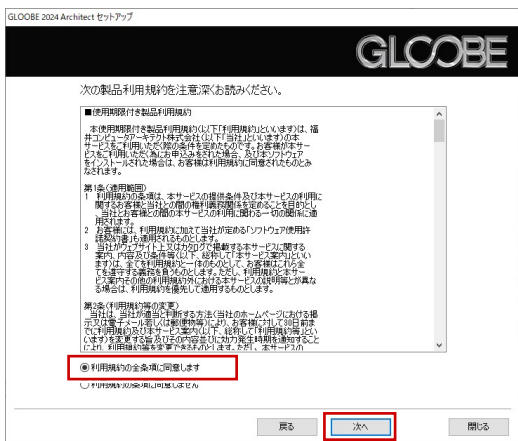


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

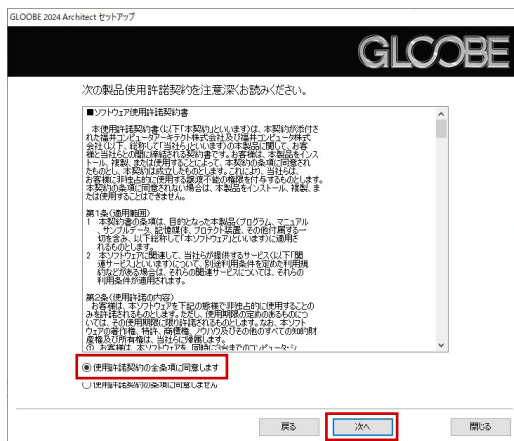
3. GLOOBE Architect セットアップへようこそ 次へ進みます。



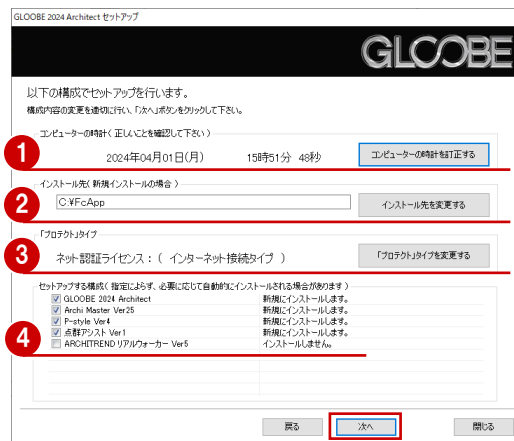
4. 「利用規約の全条項に同意します」を選択して、次へ進みます。



5. 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、次へ進みます。



6. インストールの準備



1. コンピューターの時計を確認します。  
日時がずれているとライセンスの認証が正常に行えません。右側のボタンをクリックし、正しい日時を設定してください。
2. インストール先を確認します。  
例えば D ドライブにインストールする場合は、パスを「D:¥FcApp」に変更します。

(次ページへ続きます)

- ③ プロテクトタイプを確認します。  
 USB プロテクト【SNS-W】を使用する場合は、  
 右側のボタンを押して「**SNS**を購入されている  
 場合 (USB 接続タイプ)」に変更します。  
 ネット認証ライセンス (LAN) または USB プロテ  
 クト【SNS-LAN-X】を使用する場合は「**プロテ  
 クトドライバを選択しない (LAN タイプを…)**」に  
 変更します。



- ④ セットアップする構成を確認します。  
**リアルウォーカーを購入している場合は、チェック**  
**を付けてインストールしてください。**

設定を確認して、次へ進みます。

7. メッセージが表示された場合は、「はい」を押します。



8. インストール準備の完了  
**「セットアップ開始」**を押して、インストールを開始し  
 ます。



プログラムのインストール処理が開始されます。  
 インストールするプログラムや動作環境によっては、  
 時間がかかる場合があります。



9. インストールが終了したら、【上記内容について了承し  
 ます。】にチェックを付けて「完了」を押します。



※ 再起動が必要な場合は、一旦再起動してから次の  
 Step へ進みます。

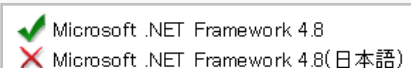
デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックして、  
 プログラムを起動してみましょう。

- ネット認証ライセンス (占有) の方は 7 ページ
  - ネット認証ライセンス (LAN) の方は 14 ページ
  - ネット認証ライセンス (共有) の方は 16 ページ
  - USB プロテクト【SNS-W】の方は 20 ページ
  - USB プロテクト【SNS-LAN-X】の方は 20 ページ
- へ進みます

● Microsoft .NET Framework がインストールされている場合

「Microsoft .NET Framework」は、インストール後に再起動してもう一度イン  
 ストールする必要がある場合があります。

右図のように「Microsoft .NET Framework」に「×」が表示されている場合  
 は、再起動後もう一度「一括インストール」を行ってください。



**補足** 個別インストールについて

DVD の「各アプリ個別インストール」には、各アプリケーションやプロテクトシステムなどを個別にインストールする機能が用意されています。

一括インストールでは、GLOOBE Architect などのプログラムとプロテクトシステムなどが、すべて指定したインストール先（基本フォルダ）にインストールされます。

例えば、インストール先の容量の問題で、あるプログラムだけを別のドライブにインストールしたい場合は、一括インストールでそのプログラム以外をインストールしたあとで、「各アプリ個別インストール」タブからそのプログラムをインストールしてください。



また、その他に以下の機能も収録されています。

● GLOOBE Model Viewer

GLOOBE で設計した BIM 建物モデルや属性情報が閲覧できる無償のビューアアプリです。BIM ソフトを持っていない人でも「GLOOBE Model Viewer」を使って BIM モデルを閲覧できるため、建物のオーナーや関係者と共有ができます。

● ARCHI Box for Windows

プレゼンデータ共有サービス「ARCHI Box」にアップロードした CG パース、図面、3D データなどを PC や Windows タブレットなどで閲覧できる専用のビューアです。

● GLOOBE のプログラムについて

GLOOBE Architect には 64 ビット版と 32 ビット版のプログラムがあり、64 ビット OS の場合は 64 ビット版が、32 ビット OS の場合は 32 ビット版がインストールされます。

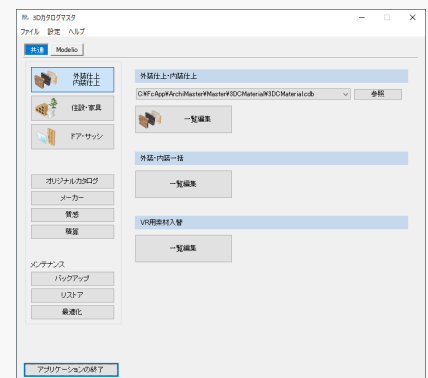
【プログラムのインストール先】

- ¥基準フォルダ¥GLOOBEArchitect¥Program64 : 64 ビット版のプログラムフォルダ
- ¥基準フォルダ¥GLOOBEArchitect¥Program : 32 ビット版のプログラムフォルダ

● Archi Master ・ 3D カタログマスタについて

GLOOBE Architect と一緒にインストールされる Archi Master、3D カタログマスタは、GLOOBE Architect で利用できる建材・設備データを管理するためのアプリケーションです。

GLOOBE Architect にある建材・設備データの入力機能については、「操作ガイド」の導入マニュアル「基本操作編」の「3D カタログマスタ/Archi Master について」を参照してください。



# 3 プログラムの起動（ネット認証占有）

プロダクト ID を認証して、GLOBE Architect を起動します。

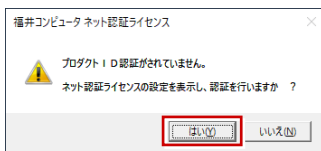
1. デスクトップの GLOBE Architect アイコンをダブルクリックします。



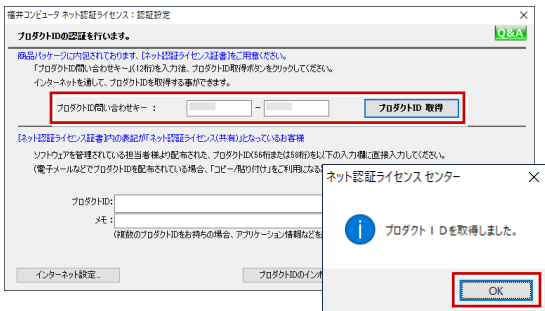
※ ネット認証（占有）を別の製品で使用中的場合は、プロダクトの確認メッセージが表示されます。**8 ページ**を参照して、プログラムを起動してください。



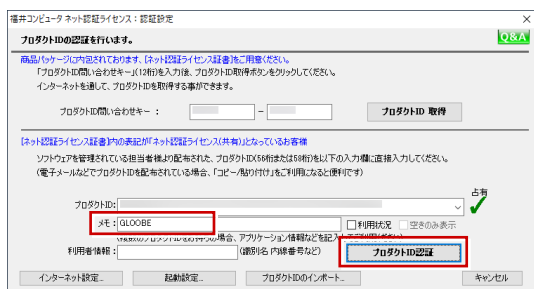
2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」を押します。



3. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」を押します。



4. 「プロダクト ID」が取得されます。「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」を押します。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

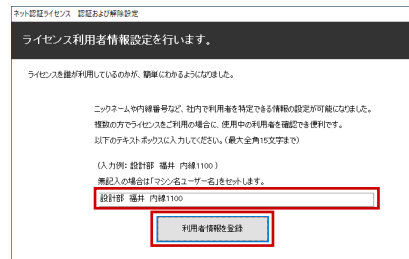
5. 「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。

ご利用の環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を選択します。

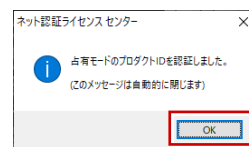


※ この設定により、どのタイミングでプロダクト ID を認証／解除するかが決まります。あとから設定を変更する方法については、**10 ページ**を参照してください。

6. 「ライセンス利用者情報設定」画面が表示されます。同じプロダクト ID を複数の方で利用している場合、誰が使用しているかわかるように利用者の情報を設定します。



7. 認証完了のメッセージを閉じます。



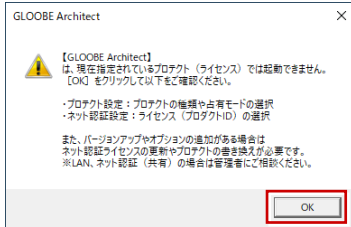
GLOBE Architect が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC アカウントの作成を行ってください。  
(9 ページへ進みます)

## 補足 ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合

すでに弊社製品をネット認証ライセンス（占有モード）で使用している場合、別の製品のプロダクトIDは「占有モード2」、もしくは「占有モード3」を使って追加認証してください。ここでは、「占有モード2」を使用する操作で解説します。

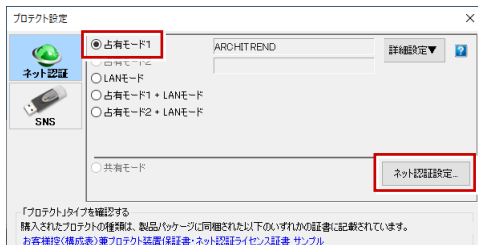
1. GLOBE Architect の起動時に、プロダクトの確認メッセージが表示された場合は、「OK」を押します。



2. 「プロダクト設定」画面の「詳細設定▼」を押して「占有モード2 有効」を選びます。



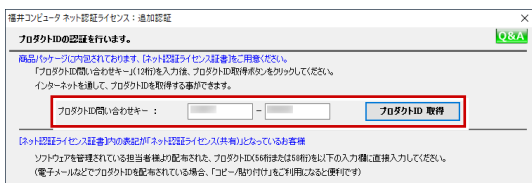
3. 「占有モード1」がONであることを確認して、「ネット認証設定」を押します。



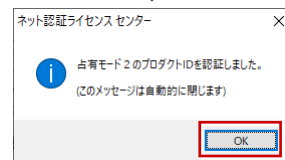
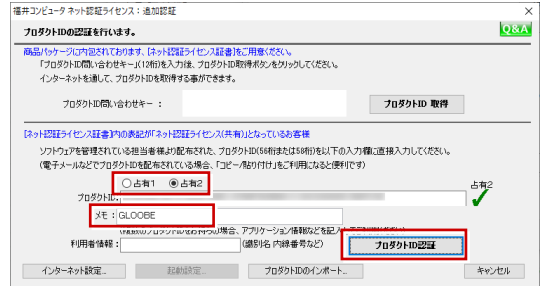
4. 「追加認証」を押します。



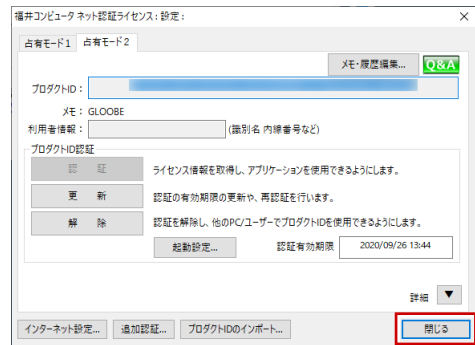
5. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている6桁+6桁の「プロダクトID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID 取得」を押します。



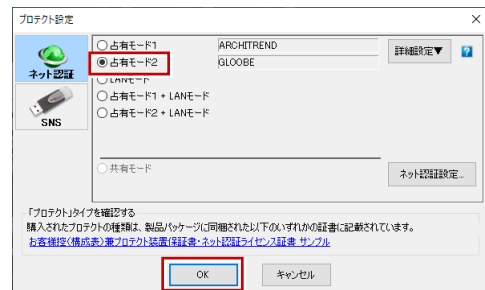
6. 「プロダクトID」が取得されます。「占有2」をON、「メモ」にこのプロダクトIDで利用できる製品名などを入力して、「プロダクトID 認証」を押します。



7. 「閉じる」を押します。



8. 「占有モード2」がONであることを確認して、「OK」を押します。



GLOBE Architect が起動します。



# 4 FCアカウントの作成

FC アカウントは、福井コンピュータグループが提供する各種 WEB サービスを管理するアプリケーションです。ご利用製品のプログラムを最新版に更新できるようにするためにも、FC アカウントを新規作成してください。

※ FC アカウントのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

- 1.** FC アカウント画面が表示されていることを確認します。



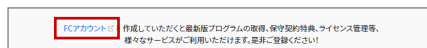
※FC アカウント画面が表示されていない場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックしてください。



- 2.** 「次のステップへ」を押して新規の FC アカウントを作成してください。



FC アカウントの作成については、「FC アカウント」をクリックして表示されるページの「FC アカウントご利用手順」を参照してください。



すでに FC アカウントを作成している場合は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」をクリックし、登録したメールアドレスとパスワードを入力してログインしてください。

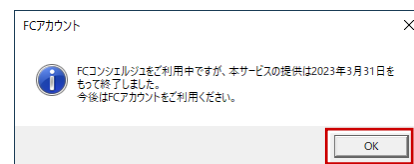


- 3.** 次のような画面が表示されたら、FC アカウントの作成は完了です。



- 「FC コンシェルジュをご利用中ですが、・・・」画面が表示された場合は

FC アカウントの起動時に下記画面が表示された場合は「OK」を押して、FC アカウントの作成に入ってください。FC アカウントの作成が開始されます。



以上で GLOBBE Architect の新規セットアップは完了です。  
チュートリアルやマニュアルを利用して、GLOBBE の基本操作を習得しましょう。詳しくは 11 ページをご覧ください。

## 補足 プロダクト ID の自動認証/認証解除の設定を変更するには

プロダクト ID の自動認証および認証解除のタイミングを変えたい場合は、以下の手順で設定を変更します。

### ■ FC アカウントを使用している場合



### ■ FC アカウントを使用していない場合



Windows 画面右下のタスクバーのアイコンから「ネットワーク認証ライセンスセンター」を起動して、「起動設定」を押します。

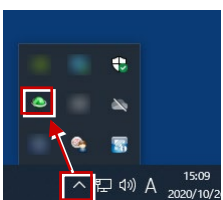
## 補足 プロダクト ID 認証を手動で解除するには

お使いのプロダクト ID を、他のユーザーまたは他のコンピューターで使用したい場合は、以下のように手動で認証を解除します。

### ■ FC アカウントを使用している場合



### ■ FC アカウントを使用していない場合

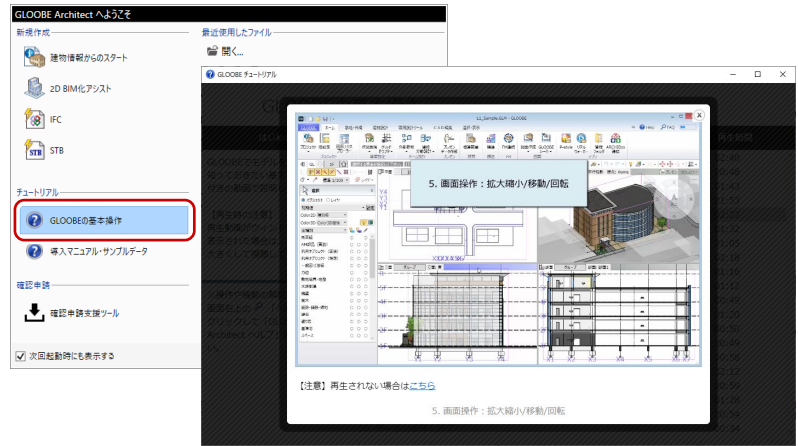


Windows 画面右下のタスクバーのアイコンから「ネットワーク認証ライセンスセンター」を起動します。

**補足** GLOBE Architect を習得するには

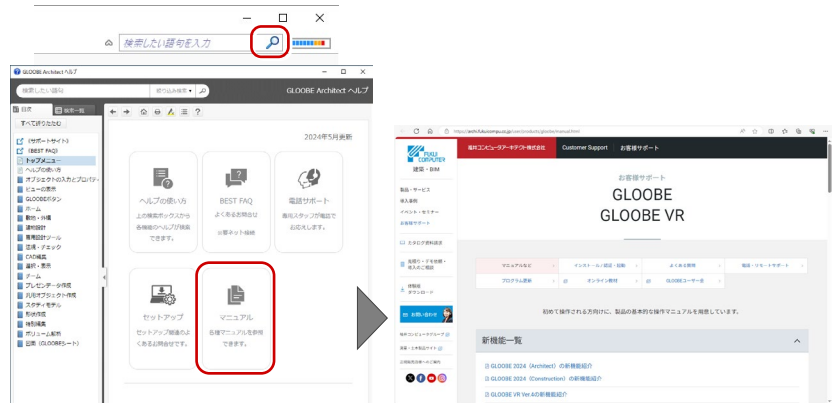
■ チュートリアル（動画）

GLOBE Architectの起動時に表示される起動メニューから GLOBE の基本操作をわかりやすくまとめたチュートリアル（動画）が開きます。GLOBE を初めて操作する方は、まずこのチュートリアルで基本的な操作を習得してください。



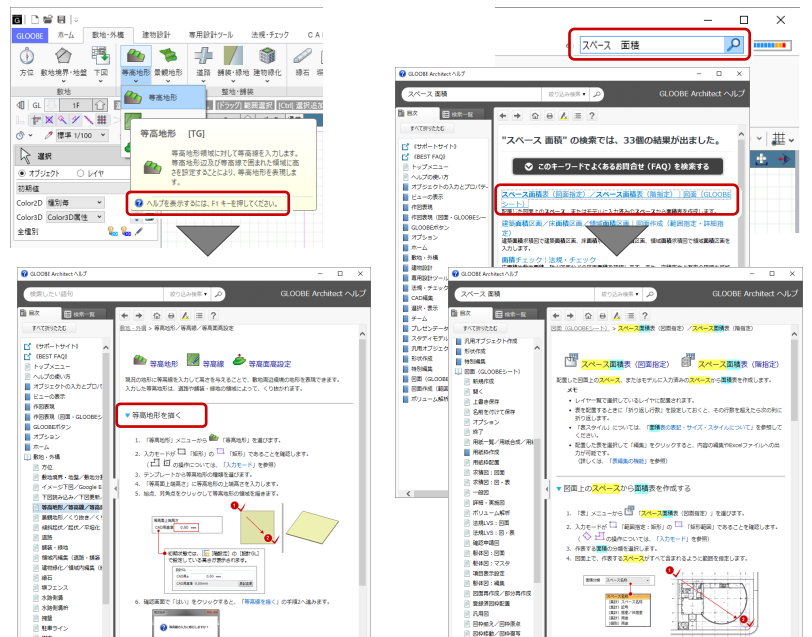
■ マニュアル・サンプルデータ

GLOBE の使い方を解説した最新のマニュアルデータやサンプルデータは、「サポートサイト」からご利用できます。GLOBE ヘルプのトップページから「サポートサイト」にアクセスできます。



■ GLOBE Architect ヘルプ

GLOBE Architectの機能の使い方や操作方法がわからないときは、検索ボックスにキーワードを入力してヘルプを検索、または機能のポップヒントから F1 キーを押して、ヘルプをご利用ください。  
※詳しくは「ヘルプの使い方」をご覧ください。



# 5 ネット認証 LAN のセットアップ

## Step1 ネット認証 LAN サーバーのインストール

使用するサーバーに、ライセンス管理システムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

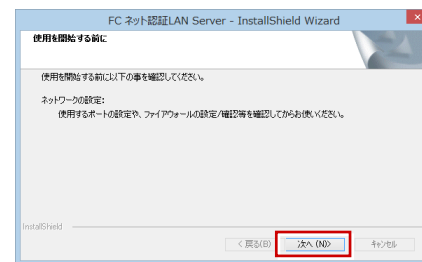
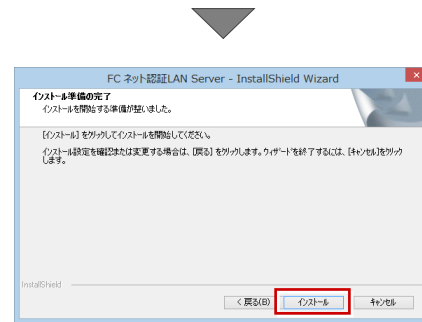
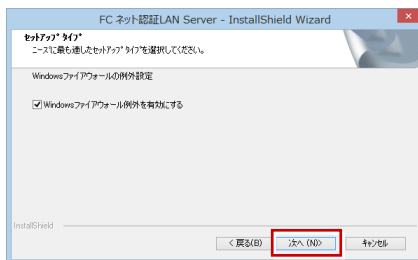
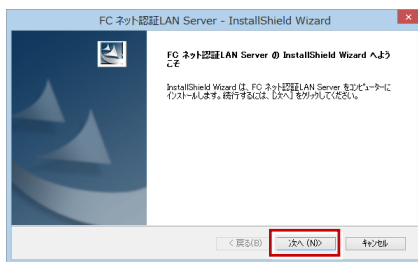
※ ネット認証 LAN サーバーの機能については、**15 ページ**を参照してください。

1. サーバーに「GLOBE Architect セットアップ DVD」をセットします。
2. 「各アプリ個別インストール」に切り替えて、「ネット認証ライセンス LAN モードサーバー」を押します。

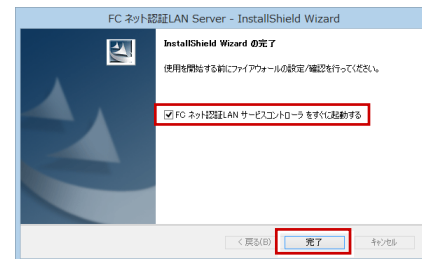


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



4. 「FC ネット認証 LAN・・・すぐに起動する」にチェックを付けて「完了」を押します。



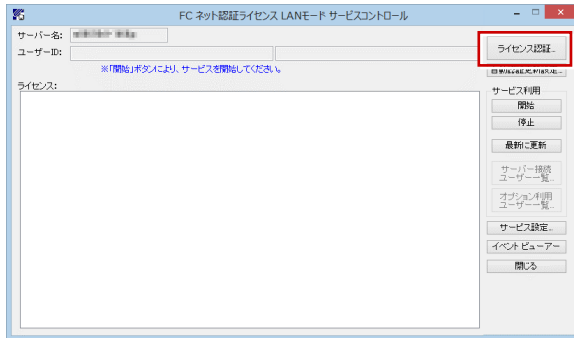
※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ進みます)

## Step2 プロダクト ID の認証（サーバー）

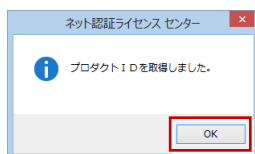
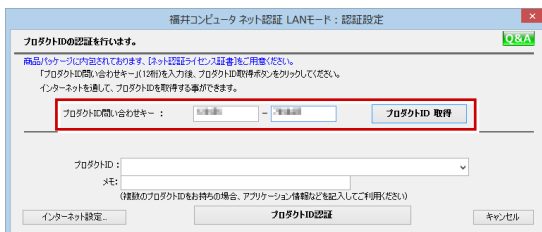
インターネットを通してプロダクト ID の認証を行い、クライアント PC からプロダクト ID に関連付けられたライセンスを利用できる状態にします。

1. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」画面より「ライセンス認証」を押します。

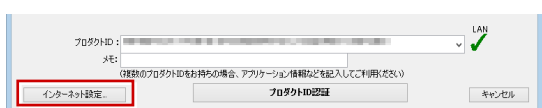


※ 上記画面が表示されない場合は、スタート画面のアプリケーションの「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を起動してください。

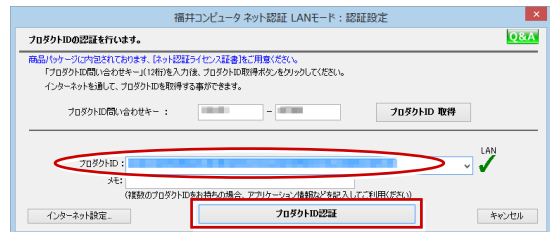
2. 「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」を押します。



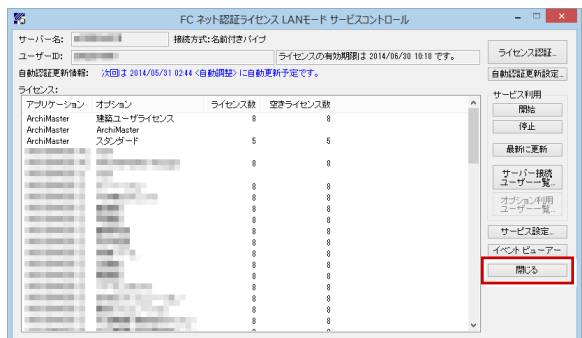
プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. 「プロダクト ID」が取得されたのを確認し、「プロダクト ID 認証」を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、「閉じる」を押します。



以上でネット認証 LAN のセットアップは完了です。  
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

# 6 プログラムの起動（ネット認証 LAN）

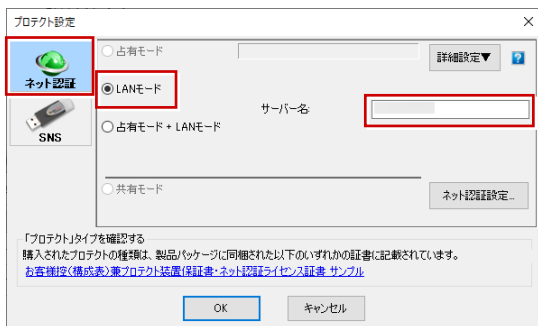
使用するプロテクトを設定して、GLOOBE Architect を起動します。

1. デスクトップの GLOOBE Architect アイコンをダブルクリックします。

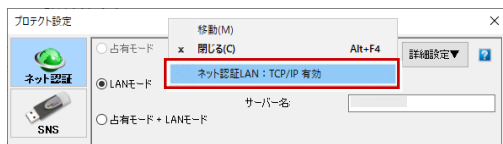


2. 初めての起動の場合、プロテクト設定画面が表示されます。

「ネット認証」の「LAN モード」をクリックして、「サーバー名」にネット認証 LAN サーバーをセットアップしたコンピューター名を入力します。



「TCP/IP ポート番号」を指定する場合は、プロテクト設定画面のタイトルバーで右クリックして、「ネット認証 LAN : TCP/IP 有効」を選択します。



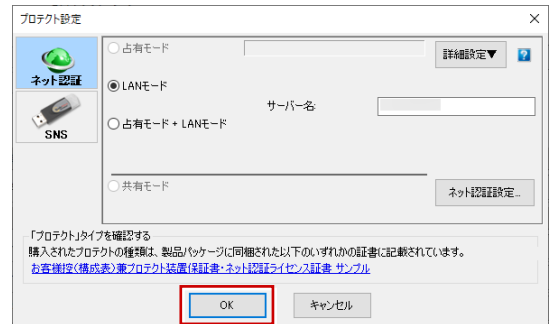
「TCP/IP ポート番号」にチェックを付けて、番号を入力します。



※ ポート番号には、「ネット認証 LAN サービスコントローラ」の「サービス設定」で設定されている番号を入力してください。

ネット認証占有とネット認証 LAN を併用している場合は、「占有モード + LAN モード」を選択してください。

3. 「OK」をクリックして画面を閉じます。



GLOOBE Architect が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC アカウントの作成を行ってください。

(9 ページへ進みます)

## 補足 ネット認証 LAN サーバーの機能

ネット認証 LAN サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main interface of the FC Network Authentication License LAN Mode Service Control application. It includes a header with the server name and connection mode, a license information section with a table, and a service control panel on the right. Callouts point to various elements:

- 「サーバー名」**: The server's computer name is displayed.
- 「ユーザーID」**: The user ID for network authentication LAN is displayed.
- 「ライセンス数」**: The number of licenses that can be used simultaneously is displayed.
- 「空きライセンス数」**: The number of remaining licenses that are currently available for use is displayed.
- 「サービス設定」**: A sub-window for setting connection and log files, with tabs for:
  - 「接続」タブ**: Set the connection protocol.
  - 「動作ログ」タブ**: Record the operation status of the application used.
  - 「使用状況ログ」タブ**: Record the application used on a regular basis.
- 「ライセンス認証」**: Perform authentication and update of product IDs.
- 「自動認証更新設定」**: Set the automatic license authentication update.
- 「開始」**: Start the service. It is necessary to start the service when using the network authentication LAN.
- 「停止」**: Stop the service.
- 「最新に更新」**: Update the latest information such as empty licenses.
- 「サーバー接続ユーザー一覧」**: Confirm the users using the license.
- 「オプション利用ユーザー一覧」**: Confirm the users using the selected option.
- 「イベントビューアー」**: Open the Windows standard function "Event Viewer" when the network authentication LAN server does not operate or during support response.

### ●「動作ログ」について

アプリケーションの動作状況を記録します。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」でのサービス「開始」時に、ログ出力設定が有効な場合に、ログの記録を開始します。
3. サービスの「停止」で、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証 LAN 動作ログ\_ (日時).log です。

### ●「使用状況ログ」について

「何時間何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を閉じると、ログファイル（FukuiComputer.TrendX.InetUserLicensing.Service.Controller.log）が保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

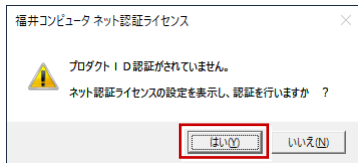
# 7 プログラムの起動（ネット認証共有）

プロダクト ID を認証して、GLOBE Architect を起動します。

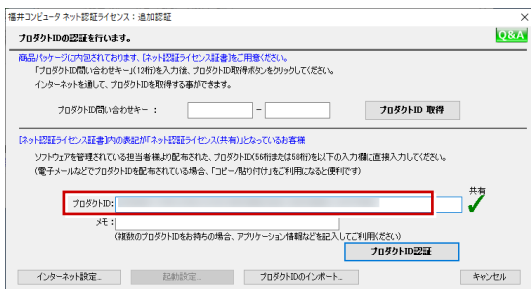
1. デスクトップの GLOBE Architect アイコンをダブルクリックします。



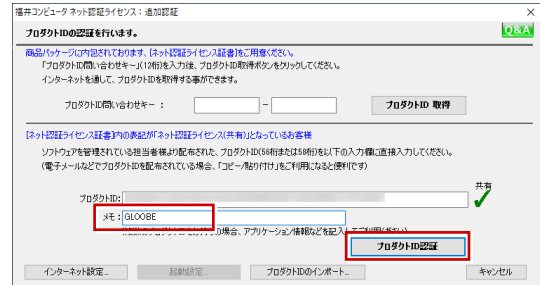
2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」を押します。



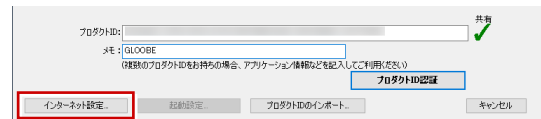
3. ソフトウェア管理者より配布された「プロダクト ID」を入力します。



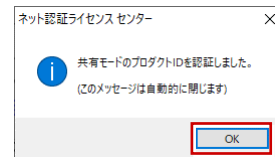
4. 「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」を押します。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



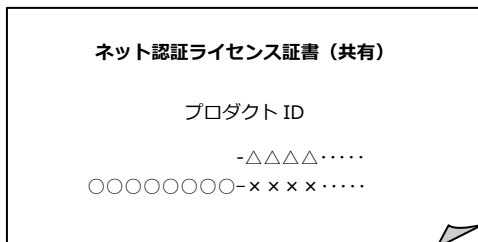
5. 認証完了のメッセージを閉じます。



GLOBE Architect が起動します。

### ● ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクト ID」は、「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどのユーザーがどの「プロダクト ID」を使用するか決めて配布しておいてください。



プログラムが起動することを確認したら、FC アカウントの作成を行ってください。

（9 ページへ進みます）



# 8 SNS-W のセットアップ

GLOBBE Architect をセットアップするコンピューターに、USB プロテクト【SNS-W】のシステムをインストールします。

**1.** 弊社製品のプロテクトに限らず、サーバーに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

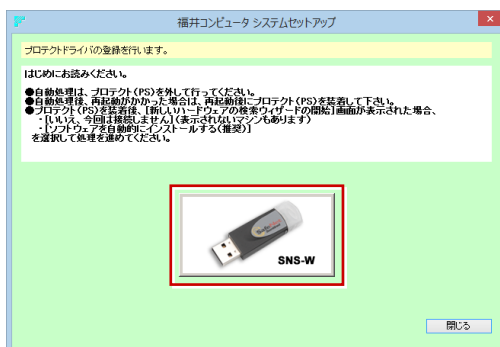
**2.** コンピューターに「GLOBBE Architect セットアップ DVD」をセットします。

**3.** 「各アプリ個別インストール」に切り替えて、「USB プロテクトドライバー」を押します。

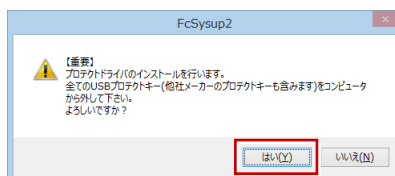


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

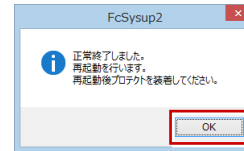
**4.** 「SNS-W」を押します。



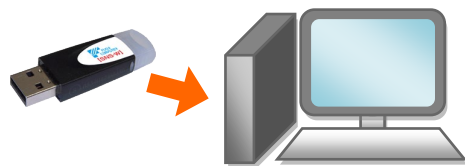
**5.** 全ての USB プロテクトキーをコンピューターから外したら「はい」を押します。



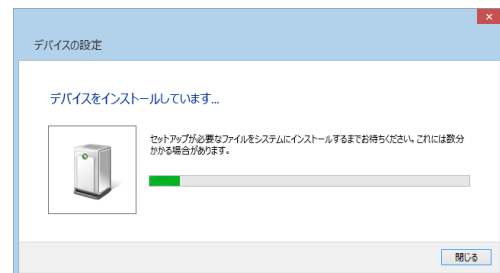
**6.** インストールが終了したら「OK」を押して、再起動を行います。



**7.** 再起動後、コンピューターに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



以上で SNS-W のセットアップは完了です。  
続いて、プログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

# 9 SNS-LAN-X のセットアップ

## Step1 システムセットアップ

ライセンスを管理するサーバーに、USB プロテクト【SNS-LAN-X】のシステムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

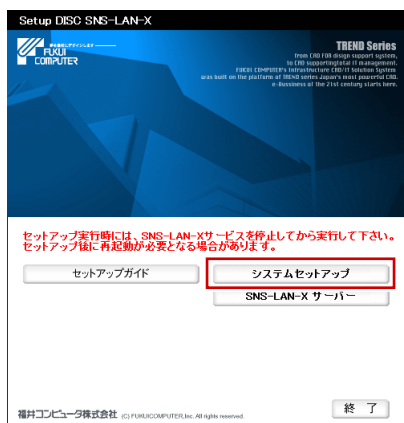
1. 弊社製品のプロテクトに限らず、サーバーに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

2. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。



SNS-LAN-X 用ライセンス CD

3. 「システムセットアップ」を押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、CD 内の「Install.exe」を実行してください。

4. コンピューターの日時を確認し、USB プロテクトの画像ボタンを押します。

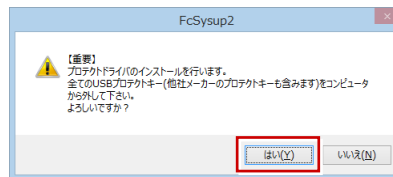


※ 日時がずれていると、ライセンスを正しく認識できません。「日時の変更」を押して、正確な日時を指定してください。

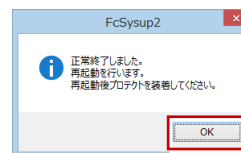
5. 「SNS-LAN-X」を押します。



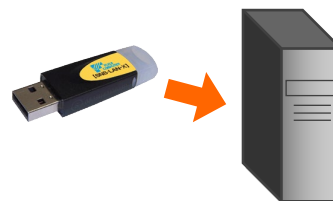
6. 全ての USB プロテクトキーをサーバーから外したら「はい」を押します。



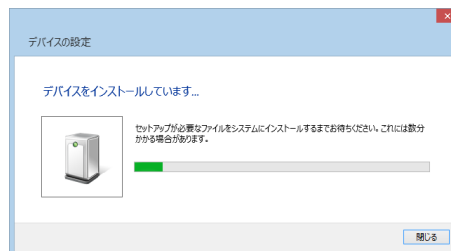
7. インストールが終了したら「OK」を押して、再起動を行います。



8. 再起動後、サーバーに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



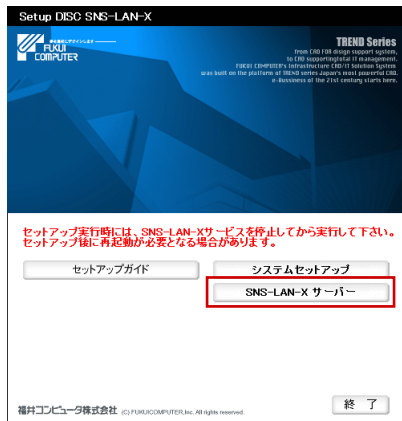
(次ページへ進みます)

## Step2 SNS-LAN-X サーバーのインストール

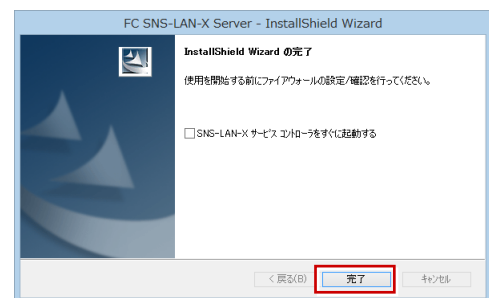
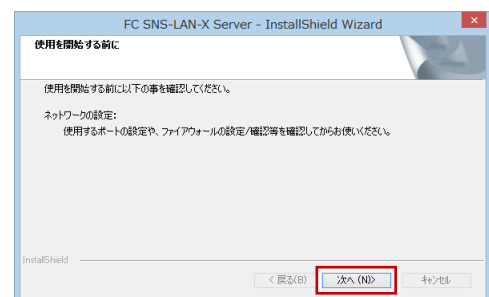
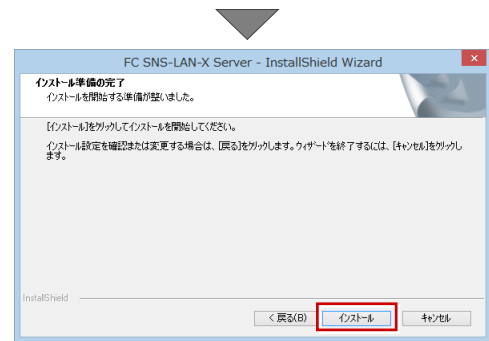
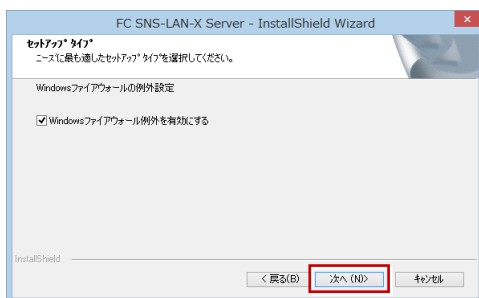
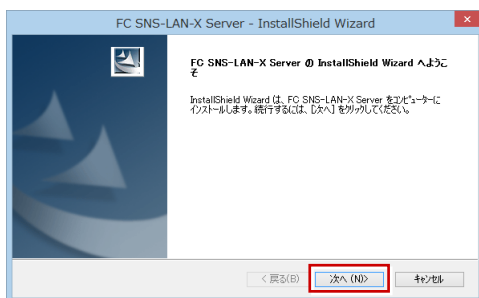
ライセンスを管理するサーバーに、ライセンス管理プログラムをインストールします。

※ SNS-LAN-X サーバーの機能については、21 ページを参照してください。

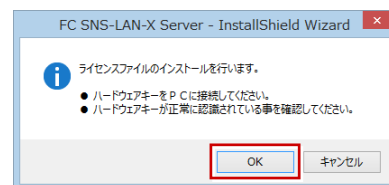
1. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。
2. 「SNS-LAN-X サーバー」を押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



以下のメッセージが表示されたら、インストールしているサーバーに USB プロテクトを装着して「OK」を押します。



以上で SNS-LAN-X のセットアップは完了です。  
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

# 10 プログラムの起動 (USB プロテクト)

使用するプロテクトを設定して、GLOOBE Architect を起動します。

1. デスクトップの GLOOBE Architect アイコンをダブルクリックします。



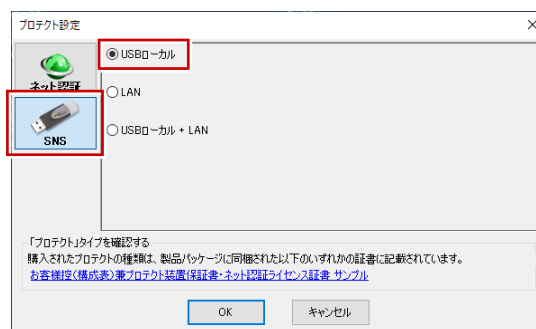
GLOOBE Architect が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC アカウントの作成を行ってください。

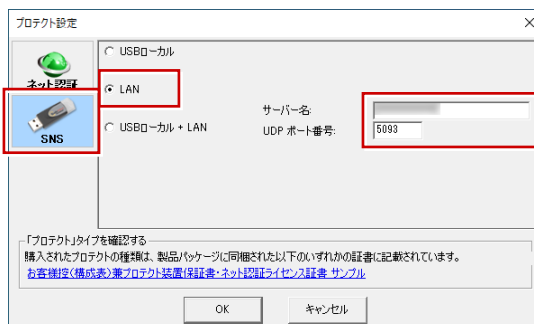
(9 ページへ進みます)

## ● 起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は

起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は、コンピューターに装着した USB プロテクトが認識されていることを確認して、「SNS」の「USB ローカル」を選択します。



サーバーに USB プロテクトを装着している場合は、「SNS」の「LAN」を選択します。「サーバー名」に USB プロテクトを装着したコンピューター名を入力して、「UDP ポート番号」が「5093」になっていることを確認します。



※ USB プロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用している場合は、「USB ローカル + LAN」を選択してください。

## 補足 SNS-LAN-X サーバーの機能

SNS-LAN-X サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC SNS-LAN-X Server」より「FC SNS-LAN-X サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントローラ' application. It features a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス' (License), and '空き' (Free). On the right side, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(T)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザー(U)' (Connect User), and 'オプション(O)' (Option). A '開じる' (Close) button is at the top right. Callouts point to various elements: 'サーバ' (Server) points to the server name field; 'ユーザID' (User ID) points to the user ID field; 'ライセンス数' (License Count) points to the 'ライセンス' column; '空きライセンス数' (Free License Count) points to the '空き' column; 'オプション' (Option) points to the 'オプション(O)' button; and a separate callout box explains the '接続' (Connect) and '使用状況ログ' (Usage Log) tabs in the 'オプション' dialog box.

**「サーバ」**  
SNS-LAN-X プロテクトを装着しているコンピューター名が表示されます。

**「ユーザ ID」**  
SNS-LAN-X プロテクトのユーザ ID が表示されます。

**「ライセンス数」**  
同時使用可能なライセンス数が表示されます。

**「空きライセンス数」**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**「オプション」**  
接続設定やログファイルを設定します。

**「接続」タブ**  
接続で使用するポート番号を設定します。

**「使用状況ログ」タブ**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

**「開始」**  
サービスを開始します。SNS-LAN-X プロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

**「停止」**  
サービスを停止します。

**「更新」**  
空きライセンスなどの情報を最新に更新します。

**「接続ユーザー」**  
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

- 「ポート番号」の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合はプログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- 「使用状況ログ」には「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
  2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイル（FcXprc.log）が保存されます。
  4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。